

# みずのなま

vol.4 2018.07

## 半田事業所 おがた ようじろう 小縣 洋二郎

He is sometimes feel So COOL but  
have PASSION  
to the festival so HOT EVERY TMS.

with his heart beat  
with his breath  
and  
WITH HIS SOUL



## 春

の訪れと共に、他の誰よりも血がたぎる男  
がいる。彼にとって、夏よりも熱い春が今  
年も始まる。

小縣 洋二郎 29歳

平成 元年三月二十日、愛知県武豊町長尾地区に生  
を受ける。そんな彼の誕生日と同じ時期に開催される  
祭り、それが地区の春祭りである。

3月下旬から5月3日、4日にかけて、武豊の各地  
区から、次々と山車が繰り出される。立川和四郎、彫  
常などの名工の手による精緻な彫刻や金・銀刺繍幕に  
おおわれた豪華な山車が勇壮に曳き廻されるのだ。

小縣は普段、半田事業所の4t運転士としてハンド  
ルを握っている。常に周囲に気を配り、冷静に、繊細  
な運転を心がける彼の姿からは、祭り装束に身を包み、  
勇壮な雄叫びを上げる姿を想像することは難しい。

一体感・地域とのつながり

小縣達が駆る山車は長尾地区の山車である。武雄神  
社に奉納される山車は、155年の歴史を持つ、歴史  
ある山車だ。生まれた時からそれは、いつも、小縣の  
そばにあった。

祭りの運営に関わる雑事は、多岐にわたる。それこ  
そ年中、祭りに関する何か動いている。

祭りが近づけば、町がざわつき始める。赤ちゃんか  
らお年寄りまで、祭りに向けて動き始める。

幼いころは、祭りが近づけば、祭りのお囃子の練習  
をしていた小縣も今では、それを子供らに指導する立  
場だ。



祭りを通して、地域とのつながりを感じることで  
きる。たった数日の、もつと突き詰めれば、数時間の  
ために、仲間達と入念に準備し、その一瞬に燃え上  
がる。その体験を通して、仲間との一体感、普段の生活  
では忘れてしまいがちな、支えあいを思い出すこと  
ができる。ともすれば、あたりまえすぎて忘れてしま  
う隣人の存在。油断すると、希薄になってしまいがちな  
地域のつながり。祭りを通してそれを再認識すること  
ができる。きっとそこに、祭りの良さはある。

## 仕

事も祭りも同じだと思っんです。  
祭りの写真を見せながら、小縣はそうつぶ  
やいた。

仕事も祭りもその大半は、地味で目立たない、しか  
し細心の注意を要求する作業に占められる。

注意深く段取りをすすめる、その一瞬に喜びを感じる。  
段取り八分、仕上げ二分という言葉がある。入念に準  
備し、周りから見れば、始まったように見えるその瞬  
間には、八割方終わっている。そんな言葉だ。

しかしこれは、言うほど簡単なことではない。

明確なゴールのイメージがなければたちまち、段取  
りは迷走し、仕上げの段になってから右往左往するこ  
とになる。どこに注意すればいいのか、そもそも、何  
をすればいいのかをつかみ、行動することは容易なこ  
とではない。そんな時に、先人の体験、自分の体験を  
仲間と共有することで、ゴールのイメージがつかめる。  
人がやった事故は自分のことだと思っ注意する  
ようにしている。と小縣は言う。仲間と、些細なこと  
でも気になることを共有し、自分の仕事に生かしてい  
く。そのつながりが、安全な仕事につながっていく。

祭りとなれば、快く、いってらっしゃい頑張っ、

楽しんでこいと送り出してくれる仲間がいる。もちろ  
ん小縣自身も、別地区の祭りに出る仲間のことを快く  
送り出し、祭りのために抜けた穴をサポートする。そ  
んなコミュニケーションと支えあいが半田事業所に  
はあるからこそ言える言葉である。

先輩からアドバイスがもらえるのはありがたい。普  
段は口に出しませんけど。そう言っ小縣は、はにか  
んだ表情を浮かべる。



## 五

年に一度、普段の祭りでは、十地区それぞ  
れで引き回される山車が、一同に会する祭  
りが開かれる。

半田山車祭りと呼ばれる祭りである。昨年、201  
7年10月7日8日に開催され、動員数は50万人を  
超えた。オリンピックよりもレアな祭りである。

さぞかし盛り上がることであろうと想像しながら  
そのことを聞くと、意外な答えが返ってきた。

半田も山車祭りはありませんけど、僕達は武豊だから。  
武豊も5年に一度開催しますけど。5年に一度のあれ  
は、確かにイベントとしては大きいですけど、本当の  
お祭りは、神様に奉納するものだから……。もちろん  
やるからには、安全運転になるようにしますけど。

小縣にとって、祭りとは、地域のものなのだ。地域  
の仲間とのつながりを感じ、感謝し、喜ぶ。規模の大  
きいとか、小さいとかいう話ではなく。隣人と仲間と  
の一体感に包まれる、幸せな場所なのだと感じさせら  
れる一言だった。



# 特集 ようやく半田事業所



半田事業所の風景

半田事業所がある愛知県半田市は、江戸時代中期から盛んに行われた醸造業の町として栄え、近年は隣接する常滑市にある中部国際空港を中心とした、日本のど真ん中の玄関口として活躍しています。半田事業所のお客様にも、醸造業を営むお客様が多くいらっしゃいます。私たちのお客様であるミツカン様の本社や、ミツカンミュージアム (MIM) も半田市にあります。



ミツカン本社ビルと  
ミツカンミュージアム (mim)

半田事業所のスタッフは総勢 37 名

- 事務：5 人
- 運送：21 人
- 倉庫：11 人 だと思えます (ヒアリング、原文まま)
- 保有車両 23 台
- トレーラー：1 台
- 大型：16 台
- 中・小型：6 台
- 倉庫のべ床面積 1,150 坪

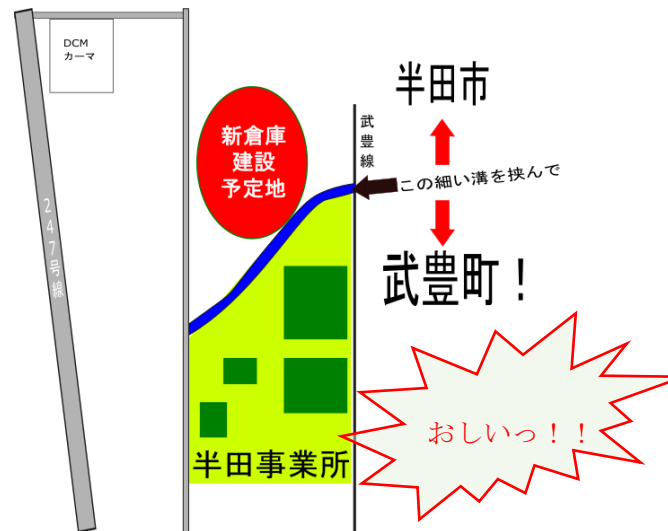
半田事業所は、宮田運輸で現在唯一、冷凍・冷蔵に対応した業務を行っている事業所です。宮田運輸の中でも特に、半田事業所はいつもきちんとしていると評判の、意識高い系でお届けしている事業所です。そんな半田事業所の 52 期のテーマは、『one for all,all for one』事業所の団結力をさらに高め、より良い事業所にしていきたくと思います。

とまあ、真面目な感じに始めてみましたが、  
公にしていた**秘密**を暴露する、  
**衝撃の事実**をお伝えします。

## 半田事業所は半田事業所といいながら実は『半田市にはありません』でした。

半田市まで、あと半歩、溝を挟んであと半歩の武豊町に事業所があったのです。

しかし、しかし、しかし！  
今季、半田事業所では、半田市内に 300 坪の倉庫を増設します。(事業所の隣の敷地です。) 悲願達成です。これで堂々と半田事業所です。



そんなわけで、内田所長から喜びの声をお伺いしたいと思います。

### 内田所長コメント



内田所長 歓喜の舞

↑ 悲願達成につき、喜びの舞を踊る内田所長

コメントと写真をお願いしたら、これが送られてきました。未確認ですが多分、歓喜の舞だと思えます。多分。

半田事業所新倉庫工事の風景です。



これからいよいよ立つという期待感のオーラを放っています

### お詫びと訂正

vol4 初回発行時点で、小縣運転士の出身地が愛知県半田市になっておりましたが、愛知県**武豊町**の誤りです。訂正版を発行させていただきます m(\_ \_)m 大変失礼いたしました。

訂正のコメントをいただいた際に、武豊町と半田市のライバル関係が見えたような気が…『さぞかし』武豊町にありながら『半田事業所』を名乗るのは『歯痒かった』ろうと…お察しいたします。

半田市と武豊町のデリケートゾーンに関わる間違についての間違いを重く受け止め、重ねてお詫び申し上げます。大変申し訳ありませんでした。

# 新入社員研修

新入社員研修の風景



新入社員研修の風景、新しい仲間が増えていきます。どうでもいいことですが、真ん中のボールの使い道が気になります。



今回、研修に集まっていたのは、

写真左から

講師	橋本部長		
村田 和也	Kazuya Murata	Frm Handa	Age. 26
堀場 和根	Kazune Horiba	Frm Komaki	Age. 49
長澤 正宏	Masahiro Nagasawa	Frm Komaki	Age. 51
川和 宏彰	Hiroaki Kawawa	Frm Saitama	Age. 33
澤田 安希	Aki Sawada	Frm Nishinomiya	Age. -
蟹江 欣也	Kinya Kanie	Frm Handa	Age. 45

敬称略です。

今回も、和気あいあいとした新入社員研修でした。希望者参加も受け付けます。入社 32 年目までは新入社員研修の受講資格がありますので、ご希望される方は是非。

嘘です。入社 60 年まで資格あります。